

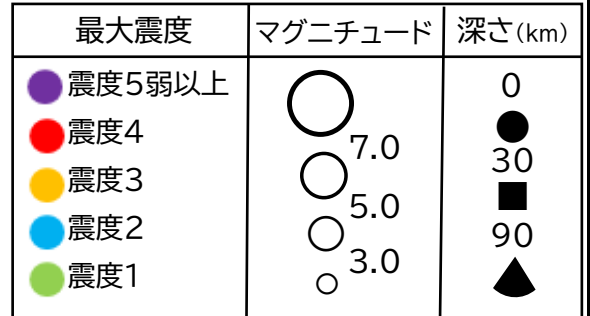
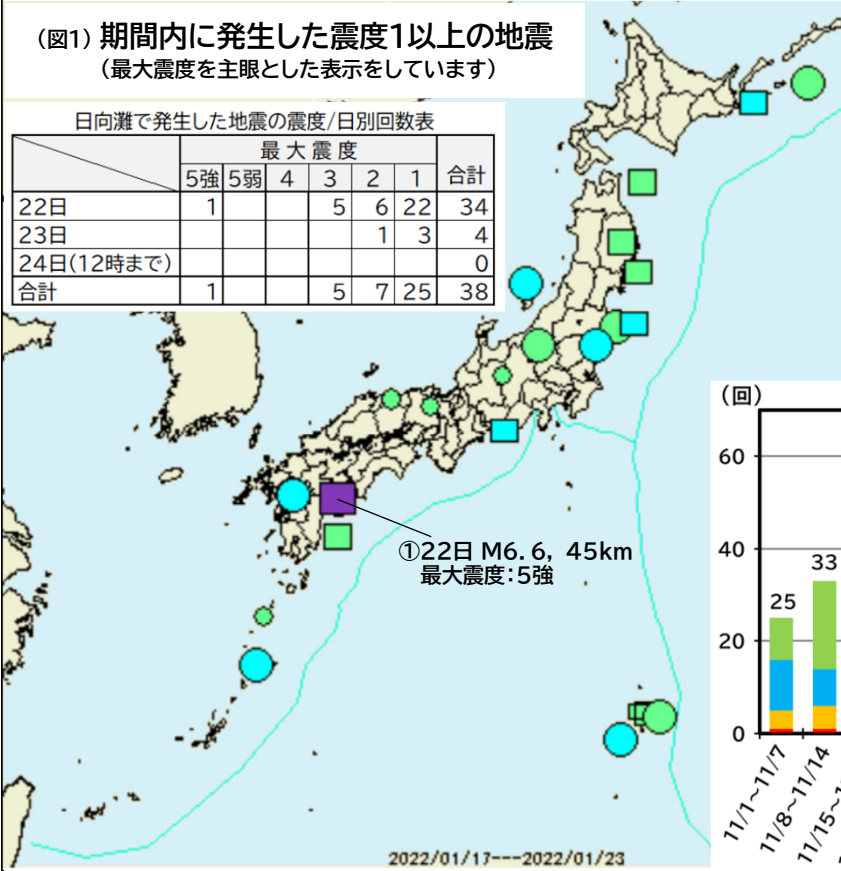
この期間の最大震度は5強(日向灘)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)

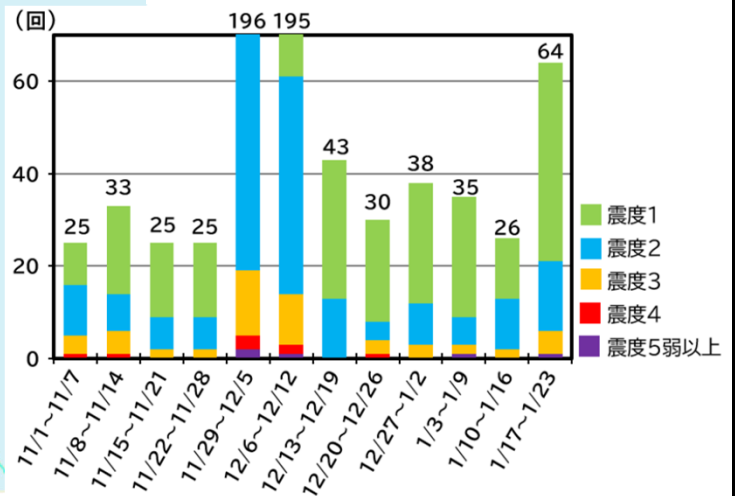
(図1) 期間内に発生した震度1以上の地震
(最大震度を主眼とした表示をしています)

日向灘で発生した地震の震度/日別回数表

	最大震度					合計	
	5強	5弱	4	3	2		1
22日	1			5	6	22	34
23日					1	3	4
24日(12時まで)						0	0
合計	1			5	7	25	38



(図2) 1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

■ この期間、震度1以上の地震が64回発生。最大震度は日向灘の地震により大分市などで観測した5強。 ■
①22日01時08分に日向灘で発生した地震(M6.6、深さ45km)により、大分県大分市・佐伯市・竹田市、宮崎県延岡市・高千穂町で最大震度5強を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度5弱～1を観測。
この地震を含め、24日12時までに震度1以上の地震を38回観測。この地震はユーラシアプレートの下に沈み込んでいるフィリピン海プレートの内部で発生したと推定される(トピックス参照)。

トピックス

■ 日向灘の地震 ■

- ・22日早朝に発生した地震は、九州地方などが属するユーラシアプレートの下に沈み込んでいるフィリピン海プレートの内部で発生したと推定されます(図3、図4)。
- ・この周辺では、過去にM7クラスの地震が時々発生しており地震活動が活発な地域で、M7クラスの地震が十数年から数十年に一度の割合で発生して(図5)、周辺の沿岸各地で、地震の揺れによる被害のほか津波による被害が発生しています。
- ・被害を伴うようなマグニチュード7クラスの地震の多くは、ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの境界で発生するタイプの地震ですが、22日早朝の地震は、このタイプとは異なりフィリピン海プレートの内部で発生したタイプと推定される地震でした。
- ・22日から24日12時までに震度1以上を観測した地震は、図1中の表のとおり38回でした。

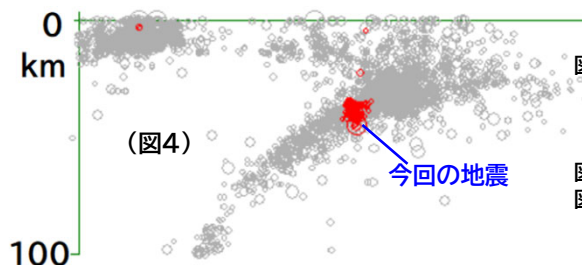
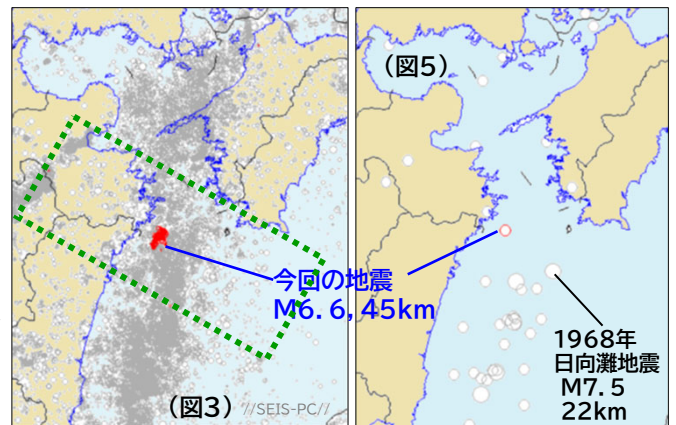


図3:1997年10月以降に発生した地震の震央分布図(M≥2.0)
赤丸:2022年1月22日以降に発生した地震
灰丸:赤色の地震より前に発生した地震
図4:図3の緑破線内の断面図
図5:1919年以降に発生したM5以上の震央分布図